

対象校No. 1062
注4

学校コード F106210101209
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 専門職大学の設置
注1

認可

注2

東北農林専門職大学 農林業経営学部 森林業経営学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

山形県
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務企画課

職名・氏名

電話番号

(夜間)

e-mail

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

農林業経営学部

＜森林業経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

山形県

(2) 大 学 名

東北農林専門職大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒996-0052

山形県新庄市大字角沢1366

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長			
学 長	(カミヤマ オサム) 神山 修 (令和6年4月就任)		
農林業経営学部長	(オザワ ワタル) 小沢 亙 (令和6年4月就任)		
森林業経営学科長	(シバタ シンゴ) 柴田 晋吾 (令和6年4月就任)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
 令和6年度に報告する内容 → (6)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
農林業経営学部 森林業経営学科 森林業学士(専門職)	農学関係	4 年	8 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	36 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	8 (—) [—]	—	—	1.12倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	13 (—) [—]	—	—	1.12倍	—	
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	13 (—) [—]	—	—	1.12倍	—	
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	12 (—) [—]	—	—	1.12倍	—	
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	9 (—) [—]	—	—	1.12倍	—	
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.12	—	—	1.12倍	—	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に「春季入学以外の学期区分の設け方を定めている場合は、「春季入学以外の学期区分にない」と「春季入学以外の学期区分を設ける年度」を選択してください。
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	9 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	9 [－] (－)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	9 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農林業経営学部 森林業経営学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必修 修	選択 択	自由 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
基礎 科目	の地域等 特性等	山形・東北の風土・伝統文化	1前	2							1	
		哲学と東北	3前	2							1	
	コミュニケーション 能力 （一般教養（人間と自然・スポーツ・社会・情報））	英語基礎	1前			2						1
		コミュニケーション論	1前	2								1
		ビジネス英語Ⅰ	1後	2								1
		ビジネス英語Ⅱ	2前	2								1
		スポーツ【※】	1前	1								1
		SDGsと倫理	1後	2			1					1
		気象・気候学概論	1後		2							1
		統計学	1後		2			1				
		情報活用【※】	2前	1				1				
		政治学概論	2前		2							1
		社会学概論	2前		2							1
		法律学概論	2前		2							1
		経済学入門	2後	2								1
	小計(15科目)	－	16	10	2	1	1	0	0	0	11	
職業 専門 科目	生産 理論・ 技術	森林土壌・樹木学	1前	2			1		1			
		造林学	1前	2			1		1			
		森林生産学	1前	2				1	1			
		森林労働安全衛生論	1前	1				1	1			
		非木材森林産品概論	1後	1			1		1			
		森林保護学	1後	2			1		1			
		森林保全学	1後	2				1				
		演習林実習Ⅰ【※】	1通	8			1	1	3			
		測量学	2前	2				1				
		森林情報学	2前	1				1				
		先端森林業技術論	2後	1				1				
		演習林実習Ⅱ【※】	2通	8			1	1	3			
	経営 全般	森林業実地体験実習【※】	1通	1					3			
		木質科学概論	2前	2			1					
		SDGsと農業・森林業	2後	2			1					1
		国際森林業論	2後	1			1	1				
		木材利活用論	2後	2			1					
		国際農業・森林業実習【※】	2・3後		2			1	1			1
		臨地実務実習Ⅰ（生産管理等）【臨】	2通	8			4	2	3			
		森林環境政策	3前	2			1					
		組織マネジメント論	3前	2								1
		森林経営管理学	3前	2			1					
		マーケティング論	3後	2								3
		森林業経営分析・計画	3後	2			1					
税制・簿記論	3後	1								2		
臨地実務実習Ⅱ（経営管理等）【臨】	3通	8			4	2	3					
木材加工・販売実習【※】	3通	2			1							
簿記各論	4前	1								2		
臨地実務実習Ⅲ（経営総合）【臨】	4通	8			4	2	3					
地域課題 解決 能力	東北の森林資源管理	2通		2				2				
	東北の森林資源利活用	2通				2		1				
	農山村活性化論	3通	2								5	
	農山村活性化論演習	3通	2								5	
	小計(33科目)	－	82	4	2	4	2	3			5	

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必修 修	選択 択	自由 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
基礎 科目	地域の 特性等	山形・東北の風土・伝統文化	1前	2								1
		哲学と東北	3前	2								1
	「コ ミュ ニ ケー ション 能力」	英語基礎	1前			2						1
		コミュニケーション論	1前	2								1
		ビジネス英語Ⅰ	1後	2								1
		ビジネス英語Ⅱ	2前	2								1
		スポーツ【※】	1前	1								1
	一般教養（人間と自然・ 食・情報）	SDGsと倫理	1後	2			1					1
		気象・気候学概論	1後		2							1
		統計学	1後		2			1				
		情報活用【※】	2前	1				1				
		政治学概論	2前		2							1
		社会学概論	2前		2							1
		法学概論	2前		2							1
		経済学入門	2後	2								1
小計(15科目)		—	16	10	2	1	1	0	0	0	11	
職業 専門 科目		生産 理論・ 技術	森林土壌・樹木学	1前	2			1		1		
	造林学		1前	2			1		1			
	森林生産学		1前	2				1	1			
	森林労働安全衛生論		1前	1				1	1			
	非木材森林産品概論		1後	1			1		1			
	森林保護学		1後	2			1		1			
	森林保全学		1後	2				1				
	演習林実習Ⅰ【※】		1通	8			1	1	3			
	測量学		2前	2				1				
	森林情報学		2前	1				1				
	先端森林業技術論		2後	1				1				
	演習林実習Ⅱ【※】		2通	8			1	1	3			
	経営 全般	森林業実地体験実習【※】	1通	1					3			
		木質科学概論	2前	2			1					
		SDGsと農業・森林業	2後	2			1					1
		国際森林業論	2後	1			1	1				
		木材利活用論	2後	2			1					
		国際農業・森林業実習【※】	2・3後		2			1	1			1
		臨地実務実習Ⅰ（生産管理等）【臨】	2通	8			4	2	3			
		森林環境政策	3前	2			1					
		組織マネジメント論	3前	2								1
		森林経営管理学	3前	2			1					
		マーケティング論	3後	2								3
		森林業経営分析・計画	3後	2			1					
		税制・簿記論	3後	1								2
		臨地実務実習Ⅱ（経営管理等）【臨】	3通	8			4	2	3			
		木材加工・販売実習【※】	3通	2			1					
簿記各論	4前	1								2		
臨地実務実習Ⅲ（経営総合）【臨】	4通	8			4	2	3					
地域課題 解決能力	東北の森林資源管理	2通		2				2				
	東北の森林資源利活用	2通		2		2		1				
	農山村活性化論	3通	2								5	
	農山村活性化論演習	3通	2								5	
小計(33科目)		—	82	4	2	4	2	3			5	

展 開 科 目	応用的・創造的能力	森林生態系サービス保全利用論	2前	2														
		森林生態系サービス保全利用論演習	2後	2				2										
		デザイン論	1・2・3・4前		2													1
		金融論	1・2・3・4前		2													1
		発酵学・醸造学	1・3・4前		2													2
		建築学	1・3・4前		2													1
		社会福祉論	1・2・3・4前		2													2
		栄養学	1・2・3・4前		2													1
		山形・東北観光学	1・3・4前		2													1
		デザイン論演習	1・2・3・4後		2													1
		金融論演習	1・2・3・4後		2													1
		発酵学・醸造学演習	1・3・4後		2													2
		建築学演習	1・3・4後		2													1
		社会福祉論演習	1・2・3・4後		2													2
		栄養学演習	1・2・3・4後		2													1
		山形・東北観光学演習	1・3・4後		2													1
小計(16科目)			—	4	28	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9		
総合科目	総合的能力	経営分析・計画演習	4通	4			4	2	2									
		小計(1科目)			4	0	0	4	2	2	0	0	0	0				
		合計(65科目)			—	106	42	4	4	1	2	0	0	23				
卒業要件及び履修方法																		
<卒業要件> 基礎科目より20単位、職業専門科目より84単位、展開科目より24単位、総合科目4単位を修得し、合計132単位とする。 (基礎科目)必修16単位と、「気象・気候学概論」又は「統計学」から2単位、「政治学概論」、「社会学概論」又は「法律学概論」から2単位を含む20単位 (職業専門科目)84単位 ■生産理論・技術 必修32単位 ■経営全般 必修46単位 ■地域課題解決能力 必修4単位と、「東北の森林資源管理」又は「東北の森林資源利活用」から2単位を含む6単位 (展開科目)必修4単位と、「デザイン論」、「デザイン論演習」、「金融論」、「金融論演習」、「発酵学・醸造学」、「発酵学・醸造学演習」、「建築学」、「建築学演習」、「社会福祉論」、「社会福祉論演習」、「栄養学」、「栄養学演習」又は「山形・東北観光学」、「山形・東北観光学演習」から20単位を含む24単位 (総合科目)必修4単位 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))																		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入**してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入**してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目名の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

【令和6年度】

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
42 科目	21 科目	2 科目	65 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	変更なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開、職業専門、総合	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	基礎、展開、職業専門、総合	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考									
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	附属農林大学校（専修 学校、収容定員80人、 面積基準なし（校舎等 を保有するのに必要な 面積の校地を有すること）と共用									
	校 舎 敷 地	0 m ²	21,923.70 m ²	0 m ²	21,923.70 m ²										
	運動場用地	0 m ²	14,578.00 m ²	0 m ²	14,578.00 m ²										
	小 計	0 m ²	36,501.70 m ²	0 m ²	36,501.70 m ²										
	そ の 他	0 m ²	484,372.96 m ²	2,613.88 m ²	486,986.84 m ²										
	合 計	0 m ²	520,874.66 m ²	2613.88 m ²	523,488.54 m ²										
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	附属農林大学校（収容 定員80名、必要面積 380m ² ）と共用。設計 変更による面積の変 更。									
		2,287.92 m ² 2,288.69 m ² (2,287.92 m ²) (2,288.69 m ²)	4,272.59 m ² 4,270.82 m ² (4,272.59 m ²) (4,270.82 m ²)	646.12 m ² (646.12 m ²)	7,206.63 m ² 7,205.63 m ² (7,206.63 m ²) (7,205.63 m ²)										
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体								
		5 室	12 室	2 室	1 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)									
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数										
		農林業経営学部 森林業経営学科			10 室										
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の数。調達予 定図書等の在庫状況に より、整備数を変更。 機械・器具の入札状況 に応じた数量等見直 し。							
									農林業経営学部	14,216 [1,850] (11,232 [1,382]) (11,672 [1,790])	79 [24] (0 [0]) (79 [24])	9 [9] (0 [0]) (9 [9])	124 120 (124) (120)	384 329 (384) (329)	0 (0)
									計	14,216 [1,850] (11,232 [1,382]) (11,672 [1,790])	79 [24] (0 [0]) (79 [24])	9 [9] (0 [0]) (9 [9])	124 120 (124) (120)	384 329 (384) (329)	0 0
	(6)図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体										
		428.43 m ²	36	50,000											
(7)体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体								
		983 m ²	-												
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費（運用 コスト含む）を含む。 図書及び設備は附属農 林大学校と共用。予算 の精査・査定による変 更。						
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	75,498千円 76,686千円	12,686千円 10,214千円	10,214千円							
		共 同 研 究 費 等	6,900千円 2,000千円	6,900千円 2,000千円	設備購入費	242,584千円 251,793千円	344千円 700千円	700千円							
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	※学生納付金は、上段 が山形県内出身者、下 段が山形県外出身者							
		818千円	536千円	536千円	536千円	一千円	一千円								
		1,100千円	536千円	536千円	536千円	一千円	一千円								
	学生納付金以外の維持方法の概要		県費、雑収入等												

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	東北農林専門職大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
農林業経営学部	4	40	年次人 3年次4	168	-	1.07	-	-	令和6	山形県新庄市大字角沢1366	
農業経営学科	4	32	年次人 3年次2	132	農業学士(専門職)	1.06	-	-	令和6	同上	
森林業経営学科	4	8	年次人 3年次2	36	森林業学士(専門職)	1.12	-	-	令和6	同上	
大学全体	4	40	年次人 3年次4	168	-	-	-	-	-	-	

大 学 の 名 称	附属農林大学校							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
養成部	2	40	年次人 -	100	専門士(農業専門課程)	1.00	-	-	昭和29	山形県新庄市大字角沢1366	令和6年度入学定員減(△20人)
大学全体	2	40	-	100	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<農林業経営学部 森林業経営学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学科長)	柴田 晋吾 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	森林生態系サービス保全利用論※ 森林生態系サービス保全利用論演習※ SDGsと農業・森林業※ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 森林環境政策 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	教授	大久保 達弘 ＜令和6年4月＞ 農学博士	森林土壌・樹木学※ 造林学※ 森林保護学※ 演習林実習Ⅰ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	教授	藤本 登留 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	木質化学概論 木材利活用論 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源利活用※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 木材加工・販売実習 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	教授	堀 靖人 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	SDGsと倫理※ 非木材森林産品概論※ 森林生態系サービス保全利用論※ 森林生態系サービス保全利用論演習※ 国際森林業論※ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源利活用※ 森林経営管理学 森林業経営分析・計画 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	准教授	菅沼 秀樹 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	統計学 情報活用 測量学 森林情報学 先端森林業技術論 国際森林業論※ 国際農業・森林業実習 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学科長)	柴田 晋吾 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	森林生態系サービス保全利用論※ 森林生態系サービス保全利用論演習※ SDGsと農業・森林業※ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 森林環境政策 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	教授	大久保 達弘 ＜令和6年4月＞ 農学博士	森林土壌・樹木学※ 造林学※ 森林保護学※ 演習林実習Ⅰ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	教授	藤本 登留 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	木質化学概論 木材利活用論 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源利活用※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 木材加工・販売実習 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	教授	堀 靖人 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	SDGsと倫理※ 非木材森林産品概論※ 森林生態系サービス保全利用論※ 森林生態系サービス保全利用論演習※ 国際森林業論※ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源利活用※ 森林経営管理学 森林業経営分析・計画 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
専	准教授	菅沼 秀樹 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	統計学 情報活用 測量学 森林情報学 先端森林業技術論 国際森林業論※ 国際農業・森林業実習 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
実 専	講師	吉 崎 明 ＜令和6年4月＞ 農学士
		森林生産学※ 森林労働安全衛生論※ 演習林実習Ⅰ 森林業実地体験実習※ 国際農業・森林業実習 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源管理※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合）
実（研）	准教授	小 山 敢 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		森林生産学※ 森林労働安全衛生論※ 森林保全学 演習林実習Ⅰ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
実（研）	講師	上 野 満 ＜令和6年4月＞ 修士（農学）
		森林土壌・樹木学※ 演習林実習Ⅰ 森林業実地体験実習※ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源管理※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
実（研）	講師	古 澤 優佳 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		造林学※ 非木材森林産品概論※ 森林保護学※ 演習林実習Ⅰ 森林業実地体験実習※ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源利活用※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
兼 担	教授	小 沢 互 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		経済学入門 マーケティング論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習
兼 担	教授	黒 瀧 秀久 ＜令和6年4月＞ 博士（農業経済学）
		マーケティング論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習
兼 担	教授	是 川 邦子 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		税制・簿記論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習 簿記各論※
		胡 柏 ＜令和6年4月＞

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
実 専	講師	吉 崎 明 ＜令和6年4月＞ 農学士
		森林生産学※ 森林労働安全衛生論※ 演習林実習Ⅰ 森林業実地体験実習※ 国際農業・森林業実習 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源管理※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合）
実（研）	准教授	小 山 敢 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		森林生産学※ 森林労働安全衛生論※ 森林保全学 演習林実習Ⅰ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
実（研）	講師	上 野 満 ＜令和6年4月＞ 修士（農学）
		森林土壌・樹木学※ 演習林実習Ⅰ 森林業実地体験実習※ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源管理※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
実（研）	講師	古 澤 優佳 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		造林学※ 非木材森林産品概論※ 森林保護学※ 演習林実習Ⅰ 森林業実地体験実習※ 演習林実習Ⅱ 臨地実務実習Ⅰ（生産管理等） 東北の森林資源利活用※ 臨地実務実習Ⅱ（経営管理等） 臨地実務実習Ⅲ（経営総合） 経営分析・計画演習
兼 担	教授	小 沢 互 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		経済学入門 マーケティング論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習
兼 担	教授	黒 瀧 秀久 ＜令和6年4月＞ 博士（農業経済学）
		マーケティング論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習
兼 担	教授	是 川 邦子 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		税制・簿記論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習 簿記各論※
		胡 柏 ＜令和6年4月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	博士（農学）
		SDGsと倫理※ SDGsと農業・森林業※ 国際農業・森林業実習 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習
兼任	准教授	吉 仲 怜 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		組織マネジメント論 マーケティング論※ 税制・簿記論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習 簿記各論※
兼任	講師	阿部 晃士 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		社会学概論
兼任	講師	板垣 直行 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		建築学【隔年】 建築学演習【隔年】
兼任	講師	金谷 由希 ＜令和6年4月＞ 修士（栄養学）
		栄養学【隔年】 栄養学演習【隔年】
兼任	講師	小泉 有紀子 ＜令和6年4月＞ 博士（言語学）
		英語基礎 ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
兼任	講師	小松 恒誠 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		スポーツ
兼任	講師	齋藤 宜之 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）
		哲学と東北
兼任	講師	澤 恩嬉 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		コミュニケーション論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	博士（農学）
		SDGsと倫理※ SDGsと農業・森林業※ 国際農業・森林業実習 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習
兼任	准教授	吉 仲 怜 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		組織マネジメント論 マーケティング論※ 税制・簿記論※ 農山村活性化論※ 農山村活性化論演習 簿記各論※
兼任	講師	阿部 晃士 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		社会学概論
兼任	講師	板垣 直行 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		建築学【隔年】 建築学演習【隔年】
兼任	講師	金谷 由希 ＜令和6年4月＞ 修士（栄養学）
		栄養学【隔年】 栄養学演習【隔年】
兼任	講師	小泉 有紀子 ＜令和6年4月＞ 博士（言語学）
		英語基礎 ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
兼任	講師	小松 恒誠 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		スポーツ
兼任	講師	齋藤 宜之 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）
		哲学と東北
兼任	講師	澤 恩嬉 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		コミュニケーション論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	下村 美保 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉論【隔年】 社会福祉論演習【隔年】
兼任	講師	高梨 友也 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉論【隔年】 社会福祉論演習【隔年】
兼任	講師	高橋 良彰 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法律学概論
兼任	講師	中澤 信幸 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		山形・東北の風土・伝統文化
兼任	講師	藤井 力 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		発酵学・醸造学【隔年】 発酵学・醸造学演習【隔年】
兼任	講師	松本(秋武) 邦彦 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		政治学概論
兼任	講師	山口 昌樹 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		金融論【隔年】 金融論演習【隔年】
兼任	講師	山崎 剛 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		気象・気候学概論
兼任	講師	山下 英一 ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		デザイン論【隔年】 デザイン論演習【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	下村 美保 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉論【隔年】 社会福祉論演習【隔年】
兼任	講師	高梨 友也 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉論【隔年】 社会福祉論演習【隔年】
兼任	講師	高橋 良彰 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法律学概論
兼任	講師	中澤 信幸 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		山形・東北の風土・伝統文化
兼任	講師	藤井 力 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		発酵学・醸造学【隔年】 発酵学・醸造学演習【隔年】
兼任	講師	松本(秋武) 邦彦 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		政治学概論
兼任	講師	山口 昌樹 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		金融論【隔年】 金融論演習【隔年】
兼任	講師	山崎 剛 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		気象・気候学概論
兼任	講師	山下 英一 ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		デザイン論【隔年】 デザイン論演習【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山田 浩久 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		山形・東北観光学【隔年】 山形・東北観光学演習【隔年】
兼任	講師	渡部 潤 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		発酵学・醸造学【隔年】 発酵学・醸造学演習【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山田 浩久 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		山形・東北観光学【隔年】 山形・東北観光学演習【隔年】

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

(記入例)

- ・ 渡部潤講師就任辞退。後任未定であるが、令和7年4月から兼任教員採用予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要な 研究業績を有する実 務家教員数
7	4	3	2
名	名	名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一(2)及び第四十二条の六、専門職大学設置基準別表第一及び第三十六条、
専門職短期大学設置基準別表第一及び第三十三条により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【専門職大学等】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
4	2	3	0	9	0	4	2	3	0	9	0
(4)	(2)	(3)	(0)	(9)	(0)						
専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数			専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数		
5	1	3	0			5	1	3	0		
(5)	(1)	(3)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
4	2	3	0	9	0	4	2	3	0	9	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数			専任教員数 （専）	専任教員数 （実専）	専任教員数 （実（研））	みなし専任教員数		
5	1	3	0			5	1	3	0		
[0]	[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
 なお、みなし専任教員(実み)がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{9} = \boxed{33.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合 計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合 計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{9} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の中心として広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究するという大学の目的、さらに専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開するという専門職大学の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう務めること。	【認可】 遵守事項 開学前の令和5年度に自己点検評価・SDFD部会を設置し、部会を4回開催のうえ、自己点検評価と認証評価の制度等の概要及びSDFD推進のための企画について検討を行った。また、教職員に向けて8回にわたりSDFD研修を実施した。この研修は、設置の趣旨や目的の理解を深め、それに基づく授業技術の向上、学生のマネジメント、そしてコミュニケーションスキルの向上に寄与し、教育水準の維持の向上につながった。 開学から4年制大学として、適切かつ円滑な教育研究活動を行うため、諸規程を整備・施行し、各種委員会を設置した。その一つとして、自己点検評価・SDFD委員会を組織し、SDFD推進の企画等を議論している。(6)	履行中 引き続き、設置計画を着実に実行していく。設置の趣旨や目的を十分に反映させるため、定期的にSDFD委員会等を開催し、議論の場を設けるとともに、教育研究活動に関する情報共有やセミナー等を実施し、教育研究の水準向上に努めていく。また、専門職大学としての使命を果たしながら、より多くの人材の育成及び輩出につなげるため、より積極的に学生の獲得に取り組み、大学入試・広報委員会での活動を中心に広報活動を展開していく。(6)
認 可 時 (令和5年)	・教育課程連携協議会の適切な運用等により、養成する人材像やディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー等に基づき、時に応じた教育課程が、将来にわたって持続的かつ効果的に編成されるとともに、その教育水準を一層向上させるよう努めること。	【認可】 遵守事項 構成員のうち、認可以降に人事異動があった所属及び役職にあつては、後任者に対し教育課程連携協議会の趣旨を説明し、就任承諾書を徴した。 前期の授業の実施状況を踏まえ、今年度1回目の協議会の開催に向けて調整している。(6)	履行中 東北農林専門職大学教育課程連携協議会規程に基づき、協議会を適切に運用し、時宜に応じた教育課程が、将来にわたって持続的かつ効果的に編成されるよう、また、教育水準を一層向上させるよう努める。(6)
認 可 時 (令和5年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 アドミッション・ポリシーを踏まえ、多様性に配慮した選抜を実施し、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めた。また、入試・広報委員会を設置し、令和6年度入学者選抜の結果を踏まえ、令和7年度入学者選抜の内容の見直しを行った。(6)	履行中 定期的に入試・広報委員会を開催し、設置計画における収容定員に見合った学生の確保につながるよう広報活動を展開していく。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について、必要に応じて定員の見直しを図る等、不断の検討を行っていく。(6)

7 その他全般的事項

<農林業経営学部 森林業経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・自己点検評価・SDFD委員会を設置

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・4月16日に第1回委員会を開催（委員7人出席）。今後、必要に応じて随時、開催。

c 委員会の審議事項等

- ・授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究活動の実施
- ・学生による授業評価の具体的な実施方法及び実施項目の検討・策定
- ・学生による授業評価の実施・分析及び評価結果に基づく担当教員への助言

② 実施状況

a 実施内容

【令和5年度】

- ・自己点検評価・SDFD部会を設置
- ・大学の理念・目的や教育について理解を深めるための全体研修会
- ・専任教員就任予定者に対する研修の実施

【令和6年度】

- ・学生による授業評価の実施
- ・授業検討会
- ・情報交換及び体験報告研修会
- ・教育研究活動や学務に資する知識や技術を向上するための研修 等

b 実施方法

【令和5年度】

- ・全体研修会は、大学の理念・目的や教育目標等を学長予定者が訓示。
- ・専任教員就任予定者に対する研修は、オンデマンド方式により実施する。

【令和6年度】

- ・学生による授業評価は、アンケート方式により実施する。
- ・授業検討会は、学生による授業評価を活用し、授業の内容及び方法についての問題点や改善点の検討を行う。
- ・情報交換及び体験報告研修会は、教員相互の講義参観に基づく意見交換や、学外の研究会・研修会へ参加した教職員による報告会を行う。
- ・その他学内で行われる教職員を対象とした研修会・ガイダンスの開催 等

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【令和5年度】

- ①全体研修会〔令和5年10月1日〕（学長予定者及び専任教員予定者25名参加）
- ②メンタルヘルス研修（教職員のセルフケア）〔令和5年10月24日～11月24日〕（学長予定者及び専任教員予定者28名参加）
- ③メンタルヘルス研修（学生の自殺予防対策等）〔令和5年11月7日～12月15日〕（学長予定者及び専任教員予定者28名参加）
- ④講師養成研修〔令和5年11月27日～12月26日〕（学長予定者及び専任教員予定者28名参加）
- ⑤苦情クレーム対応研修〔令和5年12月15日～令和6年1月12日〕（学長予定者及び専任教員予定者28名参加）
- ⑥LGBTQ対応研修〔令和6年1月9日～3月9日〕（学長予定者及び専任教員予定者28名参加）
- ⑦ハラスメント防止研修〔令和6年1月29日～3月28日〕（学長予定者及び専任教員予定者28名参加）
- ⑧研究不正予防研修〔令和6年2月22日～3月22日〕（学長予定者及び専任教員予定者22名参加）

【令和6年度】

- ①教職員ガイダンス〔令和6年4月1日〕（専任教員28名参加）
- ②地域の魅力を知るセミナー〔令和6年4月12日〕（学長及び専任教員18名参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・未開催のため該当なし。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・学生による授業評価アンケートは、学務システムポータルを利用して実施。実施時期については今後検討。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・公開方法については今後検討。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

- ・東北農林専門職大学教育課程連携協議会規程により設置（別添名簿のとおり）
- ・委員の変更は、所属及び役職は同じで人事異動によるもの

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

- ・前期の授業状況を踏まえ、今後開催予定。

c 委員会の審議事項等

- ・産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- ・産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的事項及びその実施状況の評価に関する事項
- ・その他教育課程の編成に関する必要な事項

d その他

前期の授業状況を踏まえ、今後開催予定。

- ・未開催のため該当なし。

② 審議状況

a 審議した内容

- ・未開催のため該当なし。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- ・未開催のため該当なし。開催後、見直しに向けた検討を実施。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

- ・未開催のため該当なし。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今後、運営の実績については、自己点検評価・SDFD委員会が自己点検を行ったうえで報告書を作成し、公表する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年7月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和7年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

認証評価機関と認証評価時期については検討中であり、具体的な計画は未定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。